

氏名	中川 賀 清
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 4233 号
学位授与の日付	平成20年3月25日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Evaluation of the Nuss procedure using pre and postoperative CT index (CT index を用いた (漏斗胸に対する) Nuss法の評価)
論文審査委員	教授 金澤 右 教授 森島 恒雄 准教授 土井原博義

#### 学位論文内容の要旨

漏斗胸に対する Nuss 手術は、1998 年に初めて報告された。これは従来の手術法と比べ美容性に優れ、その上、良好な外見上の改善が得られるとされている。しかし、いまだ客観的指標を用いた手術成績の報告はされていない。われわれは Nuss 手術を施行した漏斗胸患者 150 例の術前後 CT において、胸部陥没の程度を示す Haller の CT index (再陥没部で、胸腔横径を胸骨椎体間距離で除したものを) を計測した。そして、他疾患で CT を撮影した同年代の患者 62 例抽出し、胸骨下端で CT index を計測して正常対照群とし、比較検討を行った。次に、漏斗胸患者群を 10 才以下と 11 才以上の 2 群、また胸部陥没の重症度で 2 群に分類し、術前後の CT index 値の比較検討を行った。結果は、Nuss 手術により良好な胸部挙上効果が得られており、術後値は正常対照群と有意な差がなかった。また年齢、陥没の程度にかかわらず、手術により高い治療効果が得られることが判明した。これらの結果は、外見上の改善とともに、心肺の圧迫解除から、その機能改善にもつながると考えられた。

#### 論文審査結果の要旨

本研究は、漏斗胸に対する Nuss 手術法を Haller の CT Index を用いて評価したものであるが、この新しい低侵襲的手術方法により胸郭の変形が明らかに改善することを画像データの数値化により客観的に示したものである。Nuss 手術法の有用性を従来にない評価方法により示した研究であり、本法を推進していく上で極めて価値のある臨床研究と評価できる。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。